

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

|     |           |    |      |        |      |
|-----|-----------|----|------|--------|------|
| 学校名 | 大竹市立大竹中学校 | 校長 | 十亀琢磨 | 生徒指導主事 | 井手正典 |
|-----|-----------|----|------|--------|------|

取組事例名 『生命尊重の日』

取組における育てたい資質・能力

| 人間関係形成   |   | 社会参画      |   | 自己実現        |   |
|----------|---|-----------|---|-------------|---|
| 「企画・想像力」 | 3 | 「主体性・積極性」 | 2 | 「人としての思いやり」 | 1 |

取組のねらい

- 昭和 58 年 5 月 23 日大竹中学校 3 年の男子生徒が部活動中、尊い命を失うという痛ましい事故が起こった。
- ①取り返しのつかない、残念な悲しい事故が再び起こることのないようにする。
  - ②本校教職員や生徒一人一人が、「自分の命はもちろんのこと、他人の命も大切にしたい気持ちを持ち続けていこう」という思いを忘れない。
  - ③「生命を大切にしていこう」という意識を全校生徒はもちろん、保護者・教職員に育て向上していく。

| 取組の具体的内容 | 取組の創意工夫<br>『「忘れない」から「動き出す」へ』 |
|----------|------------------------------|
|----------|------------------------------|

彼の命日を「生命尊重の日」と設定し、ご冥福をお祈りするとともに、生命の尊さ、大切さを感じ、考える日としている。生命尊重の日の講演の大きなテーマは、以下の3つ

H12 までは、隔年で当時の先生方の話を伺っていた。

【病気】H13, H15, H16, H17, H29, R01

【事故】H14, H22, H23, H24, H26, H27, H30

【誕生】H21, H25, H28

H21～1年生の道徳で生命尊重の日まつわりの話を取り扱うようになった。



H28～生徒会提案で、生徒によるハートプロジェクトが始まり、クラスごとに、命に関わるテーマで話し合ったことを全校に発信するようになった。



H22～全校生徒のアイディアをまとめ、美術部の協力で作品を作成

H22 「生命尊重の日のアピール文」



H23 「THE BOND OF LIFE」



H26 「いのちの記憶」



H29 「いのち輝け」



取組の成果と課題

学校評価アンケート「生命尊重の取組や道徳の授業等で命の大切さを学んでいる」の肯定的評価

|        |          |          |          |          |
|--------|----------|----------|----------|----------|
| R 1 後期 | 1年 96.9% | 2年 94.2% | 3年 97.2% | 全体 96.2% |
| R 1 前期 | 1年 99.0% | 2年 90.5% | 3年 98.1% | 全体 96.2% |
| H30 後期 | 1年 95.4% | 2年 95.3% | 3年 97.0% | 全体 95.9% |
| H30 前期 | 1年 96.6% | 2年 98.2% | 3年 97.0% | 全体 97.3% |

○肯定的評価 95%以上という目標を毎年達成できている。

●年度の途中で肯定的評価が下がっている生徒がいることが課題である。

◎次年度には肯定的評価が 100%になるような取組を生徒と共に考える。